

施策の内容	区分	担当課	成果目標	執行状況	達成成果
“まちづくり”をすすめる男女平等					
8 政策・方針決定の場への女性の参画促進					
(1) 審議会・委員会等への女性の積極的登用					
<p>審議会・委員会等において、女性が一人もいないことがないよう、また子育てなど特定のテーマにおいてのみ女性委員割合が向上することのないよう、委員登用状況を見直します。また、全体での女性登用率が40%となることを目標とし、可能な限り公募により幅広い人材の確保に努めます。</p>	女性委員登用率の向上 登用状況の見直し 公募制度の活用	企画政策課	女性委員登用率40%以上	行財政改革推進委員会 (H18.7～H20.7) 男6人、女2人 (H20.7～H22.7) 男6人、女2人	女性委員の登用率は25%である。
		企画政策課		使用料等審議会 (H19.4～H20.4) 男4人、女1人 (H20.8～H21.8) 男4人、女1人	女性委員の登用率は20%である。
		企画政策課		重点プロジェクト推進委員会 (H18.11～H20.6) (H19.10～H20.6) 男7人、女6人	女性委員の登用率は50%である。
		企画政策課		総合計画策定審議会 (H19.5～H20.12) 男9人、女3人	女性委員の登用率は25%である。
		企画政策課		協働推進検討委員会 (H20.5～H20.10) 男7人、女3人	女性委員の登用率は30%であった。
		企画政策課		食育推進計画策定検討会議 (H20.6～H21.2) 男4人、女4人	女性委員の登用率は50%であり、成果目標である登用率40%を達成している。
	情報推進課	女性に適任者がいれば登用していきたいと考える。	情報政策専門員 (H20.4～H21.3) 男1人	未達成 0%	
	情報推進課	女性委員登用率40%	地域情報化計画策定審議会 (H19.10～H21.2) 男5人、女4人	概ね達成 44%	
	総務法規課	女性に適任者がいれば積極的に採用していきたいと考える。	情報公開審査会 任期 平成19.10.1～平成21.9.30 男女数 男2人、女2人	女性委員登用率が50%である。	
			個人情報保護審議会 任期 平成19.10.1～平成21.9.30 男女数 男4人、女3人	女性委員登用率が40%以上である。	
		個人情報保護審査会 任期 平成19.10.1～平成21.9.30 男女数 男2人、女2人	女性委員登用率が50%である。		

課題	担当課事業評価	男女平等参画推進委員会 事業評価
成果目標である女性登用率40%以上の達成を目標にしているが、審議会としての審議内容が専門的な知識が必要となるため、適任者の採用が困難である。	成果目標である女性登用率40%以上の達成に向け、見直しを図る。	B 改選時に見直しされた結果、前回と同じだったということなのではないでしょうか。専門的知識を持った女性も増えてきていると思います。女性の意見も反映できるよう努力願います。
成果目標である女性登用率40%以上の達成を目標にしているが、審議会としての審議内容が専門的な知識が必要となるため、適任者の採用が困難である。	成果目標である女性登用率40%以上の達成に向け、見直しを図る。	B どのような見直しなのか、具体的な方法を提示してほしい。
女性登用率は成果目標を達成している。	女性登用率は成果目標を達成している。	A 現状を維持して頂きたい。
成果目標である女性登用率40%以上の達成を目標にしているが、審議会としての審議内容が専門的な知識が必要となるため、適任者の採用が困難である。	成果目標である女性登用率40%以上の達成に向け、見直しを図る。	B 具体的な政策を提示してほしい。
本委員会については所掌事務を終了しているため、今後このような委員会を設置する場合、成果目標である40%以上の達成に向けて構成の見直しを図る。	本委員会については所掌事務を終了しているため、今後このような委員会を設置する場合、成果目標である40%以上の達成に向けて構成の見直しを図る。	B 次期にはぜひ目標達成を期待したい。
女性登用率は成果目標を達成している。	女性登用率は成果目標を達成している。	A 理想的と思われる。今後ともこの率を維持してほしい。
性別にとらわれた登用は考えていないが、現在の専門員以上の女性の適任者を探すのは難しい。	性別にとらわれた登用は考えておらず、適任者を登用していきたいと考える。	B 定員数1名は絶対的なものなのか。女性を1名増員するとか不可能ならば交代制にするなど一考願いたい。
特になし	概ね達成	A H19年度より女性が1名増えたことを評価したい。課題の項目で「特になし」はいただけない。「現状を維持したい」など適切な表現にして頂きたい。
_____	委員の任期の満了時に、女性の適任者の採用に努め、平成19年10月から女性登用率を40%以上とし、目標を達成した。	A 50%の達成率を評価したい。今後ともこの率を維持してほしい。尚、成果目標の項目では達成されているが具体的な数字を記載して頂きたい。又、課題の項目では棒線ではなく適切な文言を記載して頂きたい。
_____	委員の任期の満了時に、女性の適任者の採用に努め、平成19年10月から女性登用率を40%以上とし、目標を達成した。	A 女性委員の登用率が上がったことを評価したい。今後ともこの率を維持又は50%になるよう期待したい。尚、課題の項目では棒線ではなく適切な文言を記載して頂きたい。
_____	委員の任期の満了時に、女性の適任者の採用に努め、平成19年10月から女性登用率を40%以上とし、目標を達成した。	A 40%から50%になったことを評価したい。今後ともこの率を維持してほしい。尚、課題の項目では棒線ではなく適切な文言を記載して頂きたい。

契約課	女性委員登用率40%	入札等監視委員会 (H19.10~H21.10) 男3人	特になし
管財課	女性委員登用率40%	財産価格審議会 (H19.8~H21.7) 男4人、女1人 H19.12月より1減不補充 (H20.1~H21.7) 男3人、女1人	25%
生活文化課	女性委員登用率40%	男女平等参画推進委員会 (H18.7~H20.7) 男4人 女9人 (H20.7~H22.7) 男4人 女8人	女性の登用率は69%と67% で目標には達している。
産業振興課	女性委員登用率40%程度	中小企業従業員退職金等共 催運営審議会 (H19.10~ H21.9) 男10人	推薦団体に、女性登用がさ れてない。 0%
産業振興課		農業振興計画推進委員会 (H17.12~H18.9) 男11人、女1人 (H18.9~H20.9) 男10人、女2人 (H20.9~H22.9) 男11人、女1人	女性登用がされている。 8%
健康年金課	女性登用率の向上	国民健康保険運営協議会 (H19.7~H21.6) 男16人、女1人	20年度は委員改選等なく現 状維持 6%
環境保全課	女性登用率40%を目標に 可能な限り幅広い人材確 保に努める	平成20年度に委嘱した環 境審議会委員において女性 登用は30%であった。	同左
ごみ減量推進課	女性委員登用率40%程度	平成18~19年度で審議会委 員がりましたが、任期2 年を終了してから現在ま では委嘱しておらず、標記 の件については該当ありませ ん。	
危機管理室	女性委員登用率40%	消防委員会 (H19.7~H21.7) 男8人	同左 0%
危機管理室		防災会議 (H18.4~H20.3) 男32人、女2人 (H20.4~H22.3) 男30人、女2人	今回の委員登用にあた り、男性委員の減少があ ったため、結果として女性登 用率の向上となった。 6%
危機管理室		西東京市国民保護協議会 (H18.11~H20.10) 男28人、女2人 (H20.11~H22.10) 男29人、女1人	委員の登用にあって は、各関係機関より男女を 問わず推薦を受けている。 今回については女性委員の 減少という結果になってし まったが、女性登用率達成 に向けて、見直しを図る。 3%
生活福祉課	女性委員登用率40%	民生委員推薦会 (H19.10.1~H22.9.30) 男6人、女8人	57%
生活福祉課		保健福祉審議会 (H19.9.1~H21.8.31) 男6人、女4人	40%

女性委員登用の必要性については認識しているが、結果として男性委員となってしまった。	今後、女性委員を登用するため、現委員の方々からの情報提供など、協力を得ながら進めていきたい。	C	あらゆる側面からの情報を収集し、今期の0%を次期には必ず向上させてほしい。
専門的な知識が必要であるため、適任者の把握が困難である。もともと女性の少ない分野である。	専門知識を持った女性の登用に努める。	B	女性の適任者の発掘に努力してほしい。
女性に偏りがちなので、片方の性が60%を超えないよう次期委員の改選のときは配慮したい。	女性の登用率40%には達しているが、男性の登用率が31%と33%である。	B	目標に達していることを評価したい。その上で欲をいえば、ここでは公募で男性に呼びかけるなどして、逆の意味で男女比のバランスをとって頂きたい。
女性経営者の登用を望む。	女性経営者の発掘に努める。	C	女性経営者が増えてきている昨今、いま少し積極的に発掘してほしい。尚、達成成果の欄には具体的な数字を記入して頂きたい。
引き続き女性委員を登用したい	認定農業者制度推進にあたり、申請時に農業経営改善計画及び家族協定書作成を義務付けている。このような事業は、女性に対する農業振興啓発にも繋がるため今後も充実していきたい。	C	農業の担い手の約半数もしくは半数以上が女性と思われる。農産物の加工事業など農業振興の上でも女性の声が反映されることは重要である。女性の登用率を少しでも目標に近づけて頂きたい。尚、達成成果の欄には具体的な数字を記入して頂きたい。
条例に基づき関係団体等からの委員の推薦及び市民公募で委嘱しているが、女性の公募なし	条例に基づき関係団体等からの委員の推薦及び市民公募で委嘱しているが、女性の公募なし	B	女性の応募を勧めるための具体策を望む。尚、達成成果の欄には具体的な数字を記入して頂きたい。
		B	30%の具体的な数字を執行状況欄に記入願いたい。なお、目標にはいま一歩であるため、課題欄と担当課事業評価欄には、斜線ではなく、今後の努力目標など、適切な文言を記入していただきたい。
			再開したときには前期同様50%をぜひ実践してほしい
消防事業において、女性からの意見を必要とする項目等を精査する必要がある。	任期替えの際には、女性委員の登用ができるかを検討する。	C	課題欄で言及されているような点からも女性登用のための具体的な政策を期待したい。尚、達成成果には具体的な数字を記載してほしい。
妊産婦等の災害時要援護者対策も踏まえ、女性の視点による意見集約に係る項目を検討する必要がある。	任期替えの際には、積極的な女性委員推薦について各関係機関へ要望していく。	C	防災は町のネットワークが大切なため女性委員の増加は緊要である。次の任期に期待したい。尚、達成成果には具体的な数字を記載してほしい。
国民保護事業において、女性からの意見を必要とする項目等を精査する必要がある。	任期替えの際には、積極的な女性委員推薦について各関係機関へ要望していく。	C	課題欄での言及どおり女性委員を増やす努力を切望する。尚、達成成果には具体的な数字を記載してほしい。男女比のバランスを考慮願いたい。
特になし	特になし	A	登用率の達成を評価したい。年令構成、運用面での問題はないのか。尚、達成成果には具体的な数字を記載してほしい。担当課事業評価は適切な評価を記載願いたい。
特になし	特になし	A	同上

	生活福祉課		地域福祉策定・普及推進委員会 (H20.5.27～H22.5.26) 男6人、女6人	50%
	高齢者支援課	委員の女性登用率を40%目標に委嘱したい。	介護保険認定審査会 (H19.4～H21.3) 男33人、女19人	前年度の委員が継続 女性登用率37%
	高齢者支援課		地域包括支援センター運営協議会 (H.19.6～H.21.3) 男7人、女4人	女性登用率36%
	高齢者支援課		地域密着型サービス等運営委員会 (H.20.7～H.21.3) 男9人、女6人	女性登用率40%
	高齢者支援課		介護保険運営協議会 (H.19.11～H.21.10) 男11人、女7人	女性登用率39%
拡充	障害福祉課	女性委員登用率40%	有償ボランティア輸送運営協議会(H20.2.29～H22.2.28) 男5人、女2人(市職員を除く)	登用率29%
	障害福祉課		西東京市障害程度区分認定審査会 (H19.4.1～H21.3.31) 男9人、女8人	登用率47%
	障害福祉課		地域自立支援協議会 (H19.5.24～H21.5.23) 男3人、女7人	登用率70%
	子ども家庭支援センター	女性の登用に努める	予防接種健康被害調査委員会 (H19.6～H21.5) 男7人	0%
	健康年金課		健康づくり推進協議会 (H19.10～H21.9) 男9人、女6人	女性登用率40%
	子育て支援課	女性登用率の40%維持	子ども福祉審議会 (H19.8～H21.8) 男性6人、女性6人	50%
	子育て支援課	女性登用率の40%維持	青少年問題協議会 (H21.2～市議会議員担当変更まで) 男性6人、女性6人	50%
	教育企画課	女性に適任者がいれば積極的に採用していきたいと考える。	奨学生選考委員会 (H19.4～H21.3) 男5人	教育委員の奨学生選考委員 在任期間途中の退任に伴い、 女性委員が減となったが、 教育委員会として奨学生選考 委員会委員の適任者がいなか った。0%
	都市計画課	行政機関を除いた委員定数に占める女性の割合が40%以上	都市計画審議会 (H19.10～H21.9) 男13人、女3人	女性の登用率18.8% 行政機関の委員を除いた女 性割合23.1%

特になし	幅広い年齢層、職種からなり、多様な意見交換ができた。	A	年齢層、職種、男女比全ての面で評価できる。今後ともその状況を維持してほしい。尚、達成成果には具体的な数字を記載してほしい。担当課事業評価は適切な評価を記載願いたい。
委員構成の中で、医師・歯科医師については、女性の絶対数が少ない。よって、今後、安定的に女性委員が登用できるか流動的である。	委員については、専門性が求められるため、公募という形態がとれないことから、引き続き推薦母体である各団体に、趣旨の周知を図っていく。	A	専門性が必要とされるなかでこれだけの女性の登用率を評価したい。その上で各団体にいま一步の働きかけをお願いしたい。
現状では特になし。	改選時には、目標値達成に向けて取り組む。	A	目標の登用率にはもう少し。現在は女性の関わりの深い分野でもあるので、改選時には目標数値の達成を期待したい。
現状の維持に努める。	目標を達成している。	A	前期53%よりも減ってしまったのは残念である。現状維持をお願いしたい。
現状では特になし。	改選時には、目標値達成に向けて取り組む。	A	目標の登用率にはもう少しである。介護保険の運用には女性の比率をいまま少し増やしてほしい。
輸送業界代表委員は、業界に対し推薦を依頼するので、女性が推薦されるとは限らない。	目標値に達成していないので、改選時には引き続き目標達成に向けて取り組む。	B	改選時に期待したい。
現状では特になし。	目標値をクリアしている。委員改選時にも引き続き目標が達成できるよう取り組む。	A	目標値達成を評価したい。現状を維持してほしい。
現状では特になし。	目標値をクリアしている。委員改選時にも引き続き目標が達成できるよう取り組む。	A	もう少し男性の参加を望みたい。
委員のうち、関係機関へは委員の推薦を依頼している。医師会、歯科医師会は所属する女性が少ない現状にある。	平成19年5月に任期満了となり、委員の推薦を西東京市医師会にお願いしたが、女性の委員の推薦が無かった。	C	趣旨や目標を率直に伝え、医師会の協力をとり付けてほしい。又、女性の保健師を委員に加えることも検討して%を上げてほしい。達成成果欄には具体的な数値を記入してほしい。
委員のうち、関係機関へは委員の推薦を依頼している。医師会、歯科医師会は所属する女性が少ない現状にある。	市民委員については、公募の中で女性登用率を高くしている。医師会、歯科医師会から女性委員の推薦は得られなかった	A	市民委員の女性の登用率については評価したい。医師会、歯科医師会にも積極的な働きかけを望みたい。
特になし	充実	A	50%の達成率を評価したい。現状維持に努めてほしい。なお、任期も記入してほしい。
特になし	充実	A	同上
各部署への推薦を依頼する際に、女性を推薦していただくように依頼方法を改善する等、登用方法の見直しを行う。	見直し・改善	C	課題欄で言及していることを実行して、ぜひ0%の登用率を上げていただきたい。達成成果欄には具体的な数値を記入してほしい。
議会選出委員の男女構成比に大きく左右されている状態である	審議会の委員の市民応募を行ったが女性が選考されなかった。	B	市民公募もさることながら、議会選出委員の率を上げる努力もしてほしい。

再開発課	<ul style="list-style-type: none"> ・条例に基づき設置し、都市再開発法に定められている再開発事業に係る内容について審議・議決をいただくものである。 ・本委員会は学識経験者4名、権利者3名計7名で構成している。・女性の割合 0% ・権利者からの選出については、条件として権利変換者を対象として選出を行なったものであり、該当者がなかった。 	保谷駅南口地区第一種市街地再開発審査会 (任期 H20.4.1~H23.3.31 H20.4~5は1人欠員) (欠員補充 女性の登用 女性の任期 H20.6.1~H23.3.31) 男6人、女1人 20年度中の再開発審査会の開催は、1回	昨年度までの女性0人の解消 14%
下水道課	女性委員登用率40%	下水道審議会 H20.10~H22.9(男5人女1人)	平成19年度の審議会(前回)と比較して女性3人から1人となった。 17%
学校運営課	30%	市立学校給食運営審議会 年開開催日数5回 延べ(17人×5回=)85人の委員による学校給食運営の審議に携わる	述べ85人中85人が女性の委員によるものとなった。 100%
教育指導課	専門家の委員構成の中で出来るだけバランスの良い構成に配慮	通級指導学級入級委員会委員16人。 専門家委員は学識経験者3人。その他の委員は、設置学校長・学級担任、教育委員会職員 計13人。	専門家委員3人の構成は、男性2人・女性1人
教育指導課	専門家の委員構成の中で出来るだけバランスの良い構成に配慮	就学指導委員会委員19人 専門家委員は、医師、学識経験者 計3人。その他の委員は、設置学校長・学級担任、通常学級担任、特別支援学校教諭教育委員会職員 計16人。	専門家委員の構成は、男性2人・女性1人
社会教育課	女性登用率40%	社会教育委員の会議 (H19.7.1~H21.6.30) 男7人、女6人	女性登用率46% 公募委員2名中1名女性
社会教育課		生涯学習推進計画策定懇談会 (H20.6.1~H19.3.31) 男7人、女3人	女性登用率30% 公募委員2名中1名女性
社会教育課		文化財保護審議会 (H19.7~H21.6) 男7人、女1人	女性登用率12%
スポーツ振興課	女性の委員を検討する	スポーツ振興審議会 (H19.7~H21.6) 男8人、女2人	女性登用率20% 推薦団体からの女性の推薦が少ない。

再開発事業の進捗に伴い、今後、再開発審査会の開催が減少するものと想定されるため、権利者等の中から新規女性の登用は難しい状態である。	審査会の開催が少なくなる中、19年度までの女性委員が0人の状況を改善することができた。	C	女性0人の解消を評価したい。以後の改選時に女性登用の増加に努めてほしい。
目標に近づける努力が必要。	幅広い意見を基に議論が必要のため、一定程度の女性参加を望みたい。	C	女性の登用率が下がってしまったことは残念である。生活に直結した事業なので、再度目標率に近づける努力を期待したい。達成成果欄に具体的な数値を記入してほしい。
男性優位の場所に女性の登用を進める施策である男女平等参画推進であるものが、逆に男性の登用を図ることが必要と思われ、男女のバランスが取れた審議会を運営すること。	小中学校の給食運営に対し、子育ての目線から意見を反映すべく、児童生徒の保護者を多く委員にすえることができた。論議も市民意見反映の趣旨にも合致する様々な意見を取り入れられ評価的には十分なものだったといえる。	B	課題欄で指摘されている通り女性100%と偏ってしまっている。男女のバランスを考慮し、ここでは逆に男性の登用を期待したい。達成成果欄には具体的な数値を記入してほしい。
専門家委員の選出は構成に配慮する。	現状においては、バランスのとれた構成であると考えている。	B	専門家の構成人数は分るが、正しい評価をするためには他の13人の男女数を記載願いたい。
専門家委員の選出は構成に配慮する。	現状においては、バランスのとれた構成であると考えている。	B	専門家の構成人数は分るが、他の16人の男女数も記入してほしい。
特になし	21年度の改選時にも登用率が下がらないように留意したい。	A	改選時に登用率を考慮されたことを高く評価したい。
組織推薦により登用する委員が多いので、男女の比率を考慮しにくい面がある。	組織推薦依頼により登用する委員についても、女性人材登用への理解を求め、登用率の向上をめざしたい。	B	17,18年度は目標を達成していたので登用率の低下は残念です。公募委員の割合を増やして頂きたい。
文化財専門知識を有する女性人材の情報収集	専門性優先の人材確保になるが、女性人材の情報収集に努め、女性委員の登用促進を図る。	C	女性委員の発掘に努めてほしい。
推薦団体からの推薦が少ないのが現状である。	性別にとらわれた登用は意識していないが、目標が達成できるよう、推薦団体に働きかけていく。	C	趣旨や目標を率直に推薦団体に伝え協力を得られるよう努力してほしい。

		公民館	43%	第4期委員(07.5.1~09.4.30) 女7人 男7人	7(女)人/14人 50%	
		図書館	50%以上	市民公募の委員は女性が2名。有識者は女性が1名。(H19.5~H21.4) 男7人、女3人	10人の委員の男女比は7対3。(女性委員登用率30%)	
		選挙管理委員会	女性委員登用率40%	西東京市明るい選挙推進委員会(H20.4~H22.3) 男性:9人、女性29人	76%	
(2)人材に関する情報の収集と整備						
自薦・他薦も含め、多様な人材情報を収集・整備し、委員等の選任に際し活用します。	人材リストの整備	拡充	企画政策課	人材リストの庁内公開	企画政策課で保管している多摩26市人材リストの活用について、リストの周知と利用を呼びかけている。	庁内への周知を行い、有効活用を図った。
	リーダー養成講座の実施	新規	生活文化課	女性リーダーの育成と参画の促進	国・都等で実施する事業の情報提供	国立女性教育会館等の実施事業の案内をホームページに掲載。及びパンフレット台に設置

性別もさることながら、公民館、社会教育に興味・関心の深い委員の登用が課題	結果的に、バランスを欠くことなく委嘱することができた。	A	現状を維持して頂きたい。
学校関係者、有識者については、推薦によるため、性別について申し入れはしていない。	図書館法の改正により家庭教育関係者の委員を選出するので女性委員の登用が見込まれる	B	成果目標が達成されるよう期待したい。執行状況欄に任期を記入してください。
西東京市明るい選挙推進委員会 (H20.4～H22.3) 男性：9人、女性29人	76%	B	男女比に偏りがみられる。何が原因なのか課題欄に記入頂きたい。
本リストの送付元である(財)東京市町村自治調査会の意図は、市内の委員等の選任に活用することであり、広く市民に公開することが難しい。	本リストについては、市内での活用を周知した。市民の人材情報については、社会教育課で集約を図っているため、市民活動団体の周知・PRの場として「地域活動情報ステーション」の運営を開始した。	A	引き続き市内で有効活用を図ってほしい。市民の人材情報として「地域活動情報ステーション」が立ちあがったことを高く評価したい。今後市民間の交流が活発になるよう周知・PRをおこなってほしい。
他機関で実施される情報をできるだけ早く提供できるよう工夫する	国や都などの他機関のリーダー養成講座等を今後ホームページを活用して、情報提供していく	B	市独自の講座の設置を望みたい。

9 地域活動への男女平等参画促進

(1) 地域活動等への男性の参加拡大

パンフレット等を作成・配布し、地域活動やPTA等への男性の参加を促します。 また、活動時間などを見直し、男女双方が参加しやすい環境を整備します。	男性向けの意識啓発	新規	生活文化課	地域活動への男性の参加を促す	男女平等情報誌で、ワーク・ライフ・バランスを特集し実践レポートを掲載。また、男の料理指南として地域で活躍している方の紹介をした。	男女平等情報誌創刊号で、ワーク・ライフ・バランス実践レポートと題して「おやじ倶楽部」の紹介。また創刊号及び2号で、男の料理指南として「賞味会」と「コンベック」を紹介した。
	参加環境の整備	新規	関係各課	地域活動への参加環境の整備をする	未実施	未到達
	男性の参加を促す活動の充実 ・PTA ・青少年育成会 ・学校運営協議会 ・学童クラブ等	拡充	児童青少年課	地域活動への男性の参加を促す	児童館・学童クラブにおいては、例年定例行事に地域住民や保護者等への協力依頼を行い特に男性の積極的な参加を促している。	行事への協力要請により、児童館・学童クラブにおいては比較的男性の協力が得られている状況がある。

(2) 地域活動の意思決定場面への女性の参加推進

地域でリーダーとして活躍する女性が増えるよう、各地で開催されるリーダー養成講座などの情報を市民に向け提供します。	人材育成のための情報提供	継続	生活文化課	地域のリーダーとして活躍する女性が増える	国・都等で実施する事業等の情報提供	国・都等で実施する事業等の案内をパンフレット台に設置
--	--------------	----	-------	----------------------	-------------------	----------------------------

(3) 国際理解・国際交流の推進

外国人と日本人との相互理解の促進を図り「地球市民」としての意識をもてるよう取り組みをすすめます。 また、外国籍市民が不安のない、快適な生活を送れるよう、外国語による情報提供(情報発信)ができる体制づくりをすすめていきます。	地球市民意識の醸成と外国籍市民への支援 ・国際交流等行事 ・外国人の日本語習得支援 ・外国語による情報提供等	拡充	生活文化課	理解および交流をとおり、多文化共生社会の実現	日本語ボランティア養成講座 平成20年5月17日から平成20年8月2日まで全17回(公開形式講演会6回/受講生対象講演会11回)実施 多文化共生・国際交流行事 「留学生ホームビジット」 (平成20年6月15日) 「中国伝統の楽器 二胡を弾いてみませんか」 (平成20年10月18日) 「こども対象 英語で楽しく!」 (平成21年2月28日) 外国人のためのリレー専門家相談会20年12月13日実施 多言語による情報提供 1 外国語版生活便利帳『Nishitokyo City L	日本語ボランティア養成講座 受講者41人 多文化共生・国際交流行事 「留学生ホームビジット」 参加者 15組(留学生17人及び受け入れ家庭15組) 「中国伝統の楽器 二胡を弾いてみませんか」 参加者数 18人 「こども対象 英語で楽しく!」 参加者数 36人 外国人のための無料専門家相談会19年12月1日実施 相談者11人(うち女性8人)、相談件数19件 多言語による情報提供 1 市民課(外国人登録担当)を中心に配布、HPでの公開 2 毎月発行(ルビつき日本語、英語、ハン
--	---	----	-------	------------------------	--	---

<p>男性に直接手にとっていただけるよう、配布方法等の検討をする。</p>	<p>今後も身近な地域で活躍している方々を紹介しながら、自らが参加していけるような情報提供をしていきたい。</p>	<p>B</p>	<p>一歩前に踏み出したことを評価したい。多方面にわたって地域活動する男性方々を発掘・把握し、支援する体制を整える方向に向かうことを望む。</p>
<p>より多くの男女が気軽に参加していただけるよう、活動時間等の見直しによる参加環境の検討。</p>	<p>参加環境の見直しと共にPRの検討も必要。</p>	<p>C</p>	<p>長い間未記入のままだった項目に文字が入ったことをまずは評価したい。一つでも二つでも計画が実現することを期待したい。</p>
<p>今後も、男女平等推進のための啓発を行いつつ、児童館・学童クラブ行事等へ男女双方が今以上に参加しやすい環境を作るための検討を引き続き実施する必要がある。</p>	<p>同左</p>	<p>A</p>	<p>これまでの活動を高く評価する。最近父親の学校行事への参加が増えているので、さらなる活動の拡大・充実を望む。</p>
<p>他機関で実施される情報をできるだけ早く提供できるよう工夫する</p>	<p>他機関の講座等を今後ホームページを活用して、情報提供していく</p>	<p>B</p>	<p>人材育成のために情報提供だけでよいのか、いまま少し具体的な検討が必要と思われる。</p>
<p>より多くの市民に関心を持ってもらい、また参加してもらう。</p>	<p>日本語ボランティア養成講座の受講者は大半が女性で、他の様々なイベントにおいてもスタッフとして女性が多数参加しており、地域社会における女性の活躍の場となっている。また、言語・文化の異なる外国籍の人との交流においては、異文化を通じて男女平等について見つめる機会にもなっている。</p>	<p>A</p>	<p>それなりに参加人数が増え拡充していることを評価したい。今後とも多様な取り組みを希望する。又、こうした活動にこそ男性の参加を促す努力をお願いしたい。参加者の男女の数も記載してほしい。</p>

(4)活動しやすい環境の整備

<p>平日夜間や土日などに利用しやすい施設運営を検討します。犯罪防止に配慮し、かつ、さまざまな人にとって歩きやすい道路や公園の整備、男女ともに子ども連れで入れるトイレの整備など、参加・参画を促す施設の整備をすすめます。 また、自然と共存して生きるまちをめざし、環境づくりをすすめます。</p>	<p>公共施設の利用時間帯の見直し検討</p>	<p>継続</p>	<p>関係各課</p>	<p>消費者センターの開館及び利用時間の拡充</p>	<p>未実施</p>	<p>調理室について、火気を使うため防災上、より安全性の検討を要するため、21年度に向けて継続とした。</p>
	<p>道路・公園・公衆トイレの整備</p>	<p>拡充</p>	<p>道路建設課</p>	<p>人にとって歩きやすい道の整備</p>	<p>歩道整備118号線 延長106m</p>	<p>同左</p>
		<p>継続</p>	<p>みどり公園課</p>	<p>さまざまな人にとって利用しやすい公園の整備</p>	<p>既存公園（4箇所）のバリアフリー化</p>	<p>車椅子で利用できる水飲み器の設置や公園出入口の段差解消により、車椅子利用者の公園利用が可能となった。</p>
	<p>街路灯の整備</p>	<p>拡充</p>	<p>道路管理課</p>	<p>市内の道路で防犯上及び交通安全対策上必要である箇所において、街路灯の新設及び照度アップを図る。</p>	<p>新規設置数 118基 新設 45基 移管分 73基 照度アップ 36基</p>	<p>現在、市内の道路に約11,000基の街路灯が設置されている。また、宅地開発等で新設された道路には事業主負担で街路灯が73灯が設置され市に移管された。現在設置されている街路灯では暗いと市民要望のうち必要と判断された箇所にて照度アップを実施した。</p>
	<p>公共施設における多目的トイレの設置促進</p>	<p>拡充</p>	<p>生活文化課</p>	<p>市民交流施設27施設・こもれびホール・市民会館・コール田無に多目的トイレを設置する。</p>	<p>こもれびホール・市民会館・コール田無については設置済み。市民交流施設については、14施設に設置済み</p>	<p>20年度については、新規に設置はなし</p>
			<p>公民館</p>	<p>公民館すべてに多目的トイレが設置される。</p>	<p>08.7に保谷駅前公民館がオープンし、全施設に多目的トイレが設置された。</p>	<p>同左</p>
<p>省エネルギー・新エネルギーの推進</p>	<p>拡充</p>	<p>環境保全課</p>		<p>平成20年度に市内の温室効果ガス排出を抑制する「（仮称）西東京市地球温暖化対策地域推進計画」の策定を2ヵ年かけ行う。このなかで省エネ・新エネの推進について検討する。</p>		
<p>水循環の確保とみどりのネットワークの創出</p>	<p>拡充</p>	<p>環境保全課</p>				

使用団体への安全な利用についての徹底指導が必要。	使用団体への安全な利用についての徹底指導が必要。	C	消費者センターの開館および利用時間の拡充が検討されること自体は評価したい。ぜひ実施してほしい。
歩道を設置する道路拡幅整備には、用地の確保からはじまるが、用地取得に多額の費用を必要とするため、限られた財源フレームの中で進めている状況である。現在、都市計画道路整備事業（5路線）を中心に歩道整備を進めているが、権利者の協力も得なければならず、事業の完成までは至っていない。	総合計画に沿って事業を計画的に進めており、概ね順調に進行している。	C	最終的には女性・高齢者や障害のある人が1人でも安心して歩ける道路が整備されることを望みたい。
計画的に事業を執行しており特に問題はない。	小規模な改修事業であるが、バリアフリーの観点からも貴重な取り組みであると判断する。	A	新たに4箇所の既存の公園をバリアフリー化したことは評価できる。ただし「男女平等」施策に適用するのか、やや疑問ではある。
街路灯設置要望箇所の隣接地が農地の場合、街路灯の灯りが作物に影響するため、新設及び照度アップが図れない箇所がある。	市民要望のうち必要と判断された箇所について、街路灯の新設及び照度アップの整備事業を引き続き進める。	A	取り組みを評価したい。農地周辺の街路灯については特別なカバーをつけるなど共存できるなんらかの工夫により農作物を守り、なおかつ、道路を利用する者にとっても安心できるような対策を期待したい。
設置していない施設については、12施設ある。集会所には賃借物件も多く、また、スペース的な問題や、老朽化している施設も多いため多目的トイレの設置が困難	建て替えを行う場合に設置する。新規物件については、多目的トイレを設置する。	B	建て替えの際の設置に期待する。設置困難な場合でも、利用しやすくなるような改善をお願いしたい。
多目的トイレに限らず、より使いやすいトイレ環境を整える必要がある。	使いやすい公民館に一步近づいたものと評価したい。	A	100%の設置を評価する。より使いやすいトイレ環境の充実に期待する。
継続	継続	C	今後の取り組みに期待する。
		D	